

令和6年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第2四半期 (R6年7~9月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町 内	売上額	→☘	→☂	→☁	↘☂	↘☂	→☁	→☂	↗☁	→☂
	仕入単価	→☂	→☂	↗☂	→☂	→☂	→☂	→☂	→☂	→☂
	採 算	→☘	→☂	→☂	→☂	→☂	→☘	→☂	→☂	→☂
	資金繰り	→☘	→☂	→☂	↘☂	↗☘	→☂	→☘	→☂	→☂
	業界の業況	→☘	→☂	↗☁	↘☂	→☂	→☁	→☘	↗☘	↗☘
北 信		↘悪化		↗改善	↘悪化		↗改善	↘悪化		↗改善
県 内		足踏み状態にある								
全 国※		↘-32.6		↗-13.9	↘-32.9		↘-13.5	↘-20.0		↗0.8

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

令和の米騒動で精米の販売が非常に良く、販売単価も上げることが出来た（食料品小売業）

新築の着工件数が減り回復しない。町の補助が必要（建築業）

農家は高齢化により離農を視野に入れており新品の販売が振るわない（農機具販売）

夏の利用者数が冬の利用者数を超えて久しい。冬の集客が課題である（宿泊業）

《北信》

物価全体の上昇が続くなかで、消費動向の悪化により販売に悪い影響がないか心配（食料品製造）

受注状況は好調であるが、人員と工事作業員が不足しており苦慮している（機械器具設置業）

野菜について、梅雨の長雨の影響で傷んだものが多い、果実については軟化している（青果卸）

食事の売上は多少プラスだが、物品の売上は大幅にダウンしている（土産品小売）

《県内》

個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、推移していくがどうか注視

《全国》

産業全体：産業全体の DI 値改善も消費低迷・コスト高により停滞感が継続している

製 造 業：コスト高等が継続する中、業種によって業況がわかる

建 設 業：改善傾向から、価格転嫁等の前向きな取り組みを進める

小 売 業：継続する物価高による消費低迷の影響が強い

サービス業：好調な売り上げを価格転嫁に繋げたい

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」